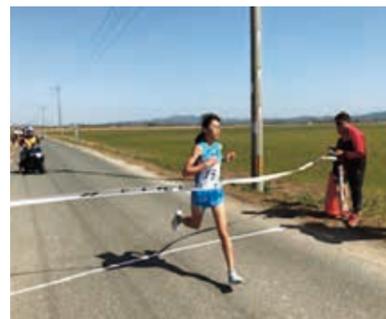


菊水中 女子の部 2位でフィニッシュ 玉名荒尾中体連駅伝競走大会

10月16日、玉名市横島町で玉名荒尾中体連駅伝競走が開催されました。男子20チーム（6区全19.710km）、女子17チーム（5区全11.885km）（いずれもオープン参加含む。）が競い合いました。和水町からは、菊水中男女各1チーム、三加和中男女各1チームの4チームが出場。菊水中男子11位、女子2位、三加和中男子14位、女子7位と健闘しました。

菊水中女子は、玉名中や三加和中などの先頭集団を追いかける態勢でスタート。1区柴尾さん（2年）が6位でタスキを渡すと、2区嶋田さん（1年）が3位に順位を上げ、4区坂本葉音さん（1年）が1つ順位を上げ2位でタスキを渡し、5区坂本華さん（3年）が区間賞を取る見事な走りそのままフィニッシュしました。

この大会で2位に入った菊水中女子は、11月8日に開催された県中体連駅伝競走大会に出場し、5位と健闘しました。



2位でフィニッシュする坂本華さん

頑張って育てて良かったな 菊水西小学校の児童が稲刈りを体験



鎌を使って刈りました

10月29日、西っ子田んぼで、菊水西小学校の全児童34人が稲刈りを体験しました。スーパー先輩と呼ばれる校区の老人会会員などの指導の下、上級生と下級生がペアを組み、350㎡ほどの田んぼの稲を約1時間で刈り終えました。

5年生の坂本たくみさんは、「登校時に、毎日、自分たちで植えた苗が育つようを見ていました。頑張って育ててよかったです。西小最後の年に、皆で一緒に楽しく稲刈りできたのでよかったですと思います」と話しました。



上手に刈れたよ

内田区の老人会会長を務める坂本政光さんは、「農業を経験したことのない今の子どもたちに、米を作る楽しさや苦勞を知ってもらうことができよかったですと思います。西小としての体験は今年最後で寂しいですが、閉校しても子どもたちの住んでいるところは変わらないので、地域で子どもたちを見守っていきたいと思います」と語りました。

今回収穫したお米（約2俵）で、もちを作り、閉校記念式典で参加者や地区住民に配布する予定です。

受賞おめでとうございます！

和水町老人クラブ連合会 クラブ会員が、育成功労賞、2019活動賞を受賞しました。

老人クラブ育成功労賞

熊本県老人クラブ連合会 会長表彰
日永 邦揚 上津田老人クラブ会長
石原 紀昭 和仁老人クラブ会長



石原紀昭さん(左から2人目)と日永邦揚さん(左から3人目)

2019活動賞

全国老人クラブ連合会 会長表彰
内田老人クラブ（内田建築踊り保存会）



内田建築踊り保存会の坂本政光さんと今田輝美さん

7万43人を突破 金栗四三生家記念館

10月11日、来場者が7万43人（四三）を突破しました。

7万43人目は、平山温泉の帰りに寄ったという福岡県朝倉郡からお越しの田中ゆきさん。田中さんは「こういう大きな建物が今まで残っていることに驚いた。地震にも耐えた建物だから土台がすごい」と話しました。

記念品として和水産のぶどう・梨・柿（生産者村上武文さん）などを贈呈しました。



7万43人目となった田中ゆきさん

ペットボトルでピザを作ったよ 和水町子ども会連合会交流事業

10月12日、肥後民家村周辺で子ども会交流事業を開催しました。町内の子ども会から21人の参加があり、江田川でのカヌー体験や「ペットボトルで作るピザ作り体験」を行いました。

参加者からは、「ペットボトルでピザを作ることに驚いた。短い時間で焼くことができた」「防災時にも使えて勉強になった」という感想を聞くことができました。



カヌー体験のようす



本格的なピザが完成

手づくりのおもてなし 第10回和水子ども読書フェスティバル

10月12日、三加和公民館で第10回和水子ども読書フェスティバルが開催されました。町内外から100人を超える参加があり、中学生のアマチュア落語家の楽しい噺や美しいコーラス、趣向を凝らした読み聞かせやわらべうた・制作活動などを楽しみました。

最後は、玉名市の日本総合教育専門学校の学生の方々による楽しい劇で、大いに盛り上がりました。参加した人からは、「毎年楽しみにしています」「笑えて楽しかった」「手作り参加型の会で、心温まりました」などのうれしい感想を聞くことができました。小さいお子さんを連れた人の参加も多く、読書に親しむ良い機会となっています。



絵本を作る部屋の様す



「ももたろう」を披露する専門学校生